

7. Kalorimetrische Bestimmung der Standard-Bildungs-enthalpienwerte von Nitroxychlorid, Dichlormonoxid und Chlordioxid, R. Alguasmi, D. Rohlack, W. Stockmann, H. D. Knauth

★ オーストラリア熱分析学会 (ATAS) 設立準備委員会

(Australian Thermal Analysis Society)

オーストラリア熱分析学会設立準備委員会は、1975年4月10日、その第1回の会合を La Trobe 大学化学教室で開催した。この会は、J.O. Hill 博士を議長に選んで進められ、ATAS の構成、目的、学会活動の内容などが討議されたあと、次の6人が理事会メンバーとして選出された。

D. Baum (Monsanto Australia Ltd.)

J. Hill (La Trobe University)

G. Lukaszewski (C. S. I. R. O. Mineral Research Laboratories)

P. Robinson (C. S. I. R. O. Division of Tribophysics)

G. Simon (Brick & Pipe Industries)

S. Warne (University of Newcastle)

この学会の目的は、ICTA との接触をより密接に保ち、ニューズレターの発行によって関連学協会の諸学会開催のアナウンス、熱分析における標準化、新しい装置や技術の紹介など種々の情報を会員に伝え、また ICTA の学会をはさんで、3年毎のシンポジウムを開催するなどの学会活動を行なうことである。できる限り早い時期に第一回理事会が開かれる予定で、ここで正式に ATAS 設立が認められると、J. Thermal Analysis, Thermochemica Acta, J. Chem. Thermodynamics などの国際学会誌を通じて公表される運びとなる。初めての対外活動として、1976年度開催予定の“First European Symposium on Thermal Analysis” (Salford, England), 1977年度予定の“ICTA V” (Tokyo, Japan) の組織委員会と連絡をとることがあげられており、このほど準備委員会の議事録が阪大理 関集三教授の許に送られてきた。連絡先は次のとおり。

Dr. John O. Hill

Department of Chemistry, La Trobe University,
Bundoora, Victoria 3083, Australia.

会 報

第3回幹事会

昭和50年4月25日、学士会館、出席者5名、第11回熱測定討論会の運営委員を下記のとおり決定。

委員長 尾山外茂男

委員 占部美子、江原勝夫、大塚良平、影本彰弘、高見沢徹一郎、村上幸夫、森本 敏、山内 繁、

特別講演予定者は次のとおり

清水 博 (九大理生物)、村上幸夫 (阪市大理)、加藤誠軌 (東工大)、金網久明 (織高研)、小沢丈夫 (電総研)

T. E. Desnoyers (Université de Sherbrooke, Quebec)

O. J. Kleppa (James Frank Institute, Univ. of Chicago)

会員動静 (50. 1. 29 ~ 50. 4. 25)

入会者

(正会員) 中村幹雄、富田義直、寺田恵喜、海保 守
退会者

(正会員) 水渡英二、金子征也、横山正明、角田光雄
(維持会員) 日本オリヴィエ(株)、三菱電機(株)中研

50年4月25日

正会員 662名

維持会員 46社

『熱測定』編集委員

高橋洋一(長)、小沢丈夫、大塚良平、菅 宏、三田 達

熱測定 Vol. 2, No. 3. 1975

昭和50年7月1日印刷

定価 1,000円

昭和50年7月10日発行

発行人 日本熱測定学会 松本直史

〒113 東京都文京区湯島1-5-31 第一金森ビル

電話 03-815-3988 振替東京110303